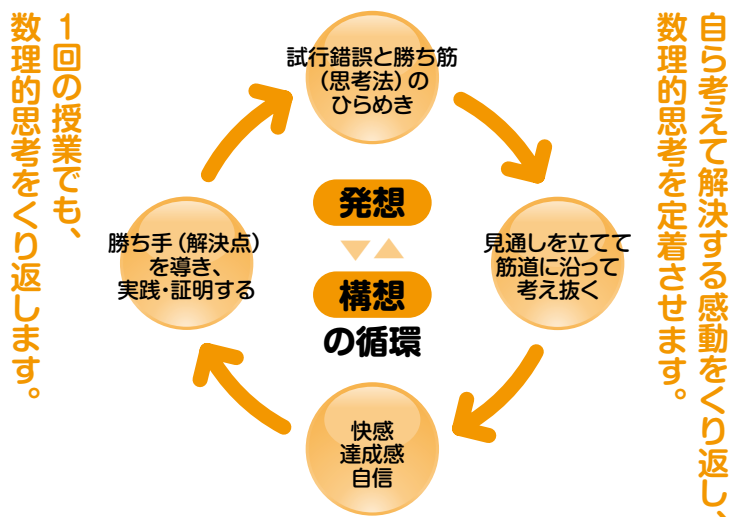


数理的な思考能力が習慣化され、算数が好きになります。

指導システム



- 数理解ゲーム、平面立体パズル、論理問題による知能トレーニングです。
- 「遊び」を通して、子どもたちの可能性を引き出します。
- 自ら考えて解決することの感動をくり返し、「発想→構想」を習慣化します。
- ゲームやパズル、論理問題に挑戦することで、考える楽しさを体感します。
- 快感・達成感のくり返しで、数理的な思考法（試行錯誤、発想、整理・組み立て、証明）が習慣化され、算数が好きになります。

授業例(週1回90分)

時間	内容(教材とルール)	テーマ
0:00	開始挨拶・マナー指導	正しい姿勢、礼儀を身に付ける。
0:02	図形パズル(ジオ・1)	図形センスを身に付ける。
0:10	記憶ゲーム	記憶力・集中力を身に付ける。
0:30	立体パズル (ピー・キューブ/アイキューブ)	空間認識力を身に付ける。
0:40	チャレンジペーパー (オリジナルプリント)	ひらめき、論理的思考法を身に付ける。
0:45	論理パズル (詰めアルゴ問題)	論理性・説明能力を身に付ける。
0:55	アルゴゲーム (黒白1~8のアルゴカード)	筋道を立てて考え抜く力、相手の立場で想像する力を身に付ける。
1:28	片付け・今日のMVP発表・宿題	正しいマナーや仲間を称える習慣を身に付ける。自分で考え、説明する習慣を身に付ける。
1:30	終了挨拶	

